



ANNUAL REPORT 2013

まちづくり&組織の活性化
ファシリテーション



社会が、一人ひとりが
生き生きと生活できる社会の実現
を目指しています。



SOCIAL ACTY

◆ What's Social acty ? ◆

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。

そして、社会全体もいきいきしていく。」

そんなことを願っています。

そのためには、一人ひとりの持っている能力が発揮できること。それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。

Facilitationは、引き出す、容易にするという意味があります。

能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。

まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

 ソーシャル・アクティ

E-mail social-acty@m4.catvmics.ne.jp

TEL 090-3856-4960

<http://social-acty.com>

代表取締役 林 加代子

◆ 対話

ワールドカフェ、OST、プロアクションカフェなど さまざまなホールシステム・アプローチで対話の場をファシリテート



参加した方々にはご満足いただけたようで、ファシリテーターとして光栄な言葉をたくさんいただきました。

普段の生活から少し、距離をおいた話題について対話したいと思っている人がたくさんいることを痛感し、対話の時代になったことを確信しました。

- ◆ 被災者支援法フォーラム
+対話
- ◆ 広域協議会職員研修
- ◆ 100人の母トークイベント
- ◆ 映画観賞会+対話
- ◆ 三町合同職員研修
など

◆ 子ども

1日歳までを子どもとすると、子どもたち同士、 子どもと大人の世代を超える交流の場をファシリテート

はじめは様子を見ている子が多かったのですが、安心すると本音を話してくれました。

子どもたちも自分で考え、意見をちゃんと持っていました。

それを安心して発言する場や機会をもっと創りたいと思いました。



- ◆ 子ども会議
- ◆ 子どもと大人の
合同ワークショップ
- ◆ TOMODACHIプロジェクト
inサマー事前学習会
- ◆ 子どもと大人環境学習
- ◆ 花のまちづくり
など

◆ R&D

HUG（避難所運営ゲーム）を活用して、 地域のつながりや多様性を考えてもらうプログラムを開発

地域の防災訓練やBCM(business continuity management)に活用していただきました。

新しく「フューチャーセッション」を研究したり

web上の合意形成システム「COLAGREE」の社会実験でファシリテーターを務めました。



Research

- ◆ 多様性意識分析
- ◆ フューチャーセッション

Development

- ◆ HUG(避難所運営ゲーム)で
多様性センスを磨く! セミナー
- ◆ 加ロード[®]を活用したマネージャー
- ◆ インプロを活用した
マインドアップセミナー

など

◆ 2013年 ふりかえり

ワークショップでは、ご近所のポケットパークをデザインするワークショップをしたり、

ハザードマップをつくるワークショップでファシリテーターをしたりとハードの分野でのワークショップをしました。

ハードはソフト=心のあり方や行動が形となったものです。

ハードの設計にいかにか使う人たちの心や願いを込めるかが出来上がった後の活用の鍵となるとワークショップをしました。

タイトルに「対話」がついたイベントや研修も増えてきました。本音の言える場づくりを心掛けました。

対話は大人だけでなく、子どもにも求められていることを痛感した1年でした。